

第 13 回 国分川調節池を育む会

日時：平成 24 年 5 月 27 日（日）

10 時～

場所：東国分中学校 多目的室

次 第

1. あいさつ

2. 全体会

- (1) 国分川調節池整備工事の現在の進捗状況について
(千葉県真間川改修事務所)
- (2) 上部活用事業の今後の予定について
(市川市みどり整備課)
- (3) 国分川調節池の見学
(東国分中学校屋上より)
- (4) 市民参加による公園管理の事例紹介
(千葉大学大学院園芸学研究科 近江慶光氏)

3. その他

<資料>

- 1. 国分川調節池上部活用事業 スケジュール（案）【資料 1】
- 2. 国分川調節池上部活用事業 今後の予定（案）【資料 2】
- 3. 多目的広場整備計画（案）【資料 3】
- 4. 多目的利用ゾーンイメージ図【資料 4】
- 5. 国分川調節池上部活用基本計画図【資料 5】
- 6. 検討部会名簿【別紙】

事務局（市川市役所 みどり整備課）

TEL：047-332-8774（直通）

FAX：047-332-8749（河川・下水道整備課内）

メール：midoriseibi2@city.ichikawa.chiba.jp

国分川調節池上部活用事業 スケジュール(案)

平成24年4月1日現在

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	備考
調節池工事(千葉県)					掘削工事	付帯工事					千葉県真間川改修事務所
上部活用(市川市)											市が活用する緑地(広場)の整備
国分川調節池を育む会			休会	運営・管理方針の検討							平成19年に地元住民、市民団体、行政職員で構成された組織
基本設計及び国庫補助関係		21年度完了	事業費調整	補助申請							公園関係の国庫補助事業を予定
占用区域・施工管理協定				県と協議	占用手続き・施工管理協定締結						占用区域は、整備完了後、都市公園にする。
中池広場整備	多目的ゾーン 散策・休息ゾーンの一部				実施設計	整備工事					
	多目的ゾーンの一部 散策・休息ゾーンの一部 駐車場					実施設計	整備工事				
管理棟新築							実施設計	新築工事 屋外設備工事			
下池広場整備	散策・休息ゾーン						実施設計	整備工事			
	自然ふれあいゾーン							実施設計	整備工事		
広場の維持管理											草刈・清掃等

国分川調節池上部活用事業 今後の予定（案）

1. 平成 24 年度の予定

(1) 第 13 回育む会（平成 24 年 5 月 27 日）

議事内容

- ・ 国分川調節池整備工事の進捗状況について
- ・ 上部活用事業の今後のスケジュールについて
- ・ 現地見学（中学校屋上から）
- ・ 市民参加による公園管理の事例紹介

(2) 第 14 回育む会（平成 24 年 10～11 月頃）

議事内容（予定）

- ・ 千葉県、市川市、市民の役割分担の検討について
- ・ 公園管理における育む会の組織作りについて

(3) 第 15 回育む会（平成 25 年 2 月頃）

議事内容（予定）

- ・ 千葉県、市川市、市民の役割分担の検討について
- ・ 公園管理における育む会の組織作りについて
- ・ 運営・管理方法についての詳細検討について

2. 平成 25 年度以降の予定

(1) 平成 25 年度

多目的利用ゾーン（サッカースペース部分）、散策・休息ゾーン（中池南側部分）の運営・管理方法の決定（平成 26 年度より供用開始予定）

(2) 平成 26 年度

多目的利用ゾーン（野球スペース部分）、散策・休息ゾーン（中池北側部分）、駐車場の運営・管理方法の決定（平成 27 年度より供用開始予定）

(3) 平成 27 年度

管理棟の運営・管理方法の決定（平成 28 年度より供用開始予定）

(4) 平成 28 年度

散策・休息ゾーン（下池部分）の運営・管理方法の決定（平成 29 年度より散策休息ゾーン全区域供用開始）

(5) 平成 29 年度

自然ふれあいゾーンの運営・管理方法の決定（平成 30 年度より自然ふれあいゾーン供用開始予定）

※調節池全体の運営・管理については、適宜検討していく。

多目的広場整備計画(案)

平成25年度
整備予定箇所

防球ネット

防球ネット

防球ネット

サッカー場
100m×60m

グラウンドゴルフ場

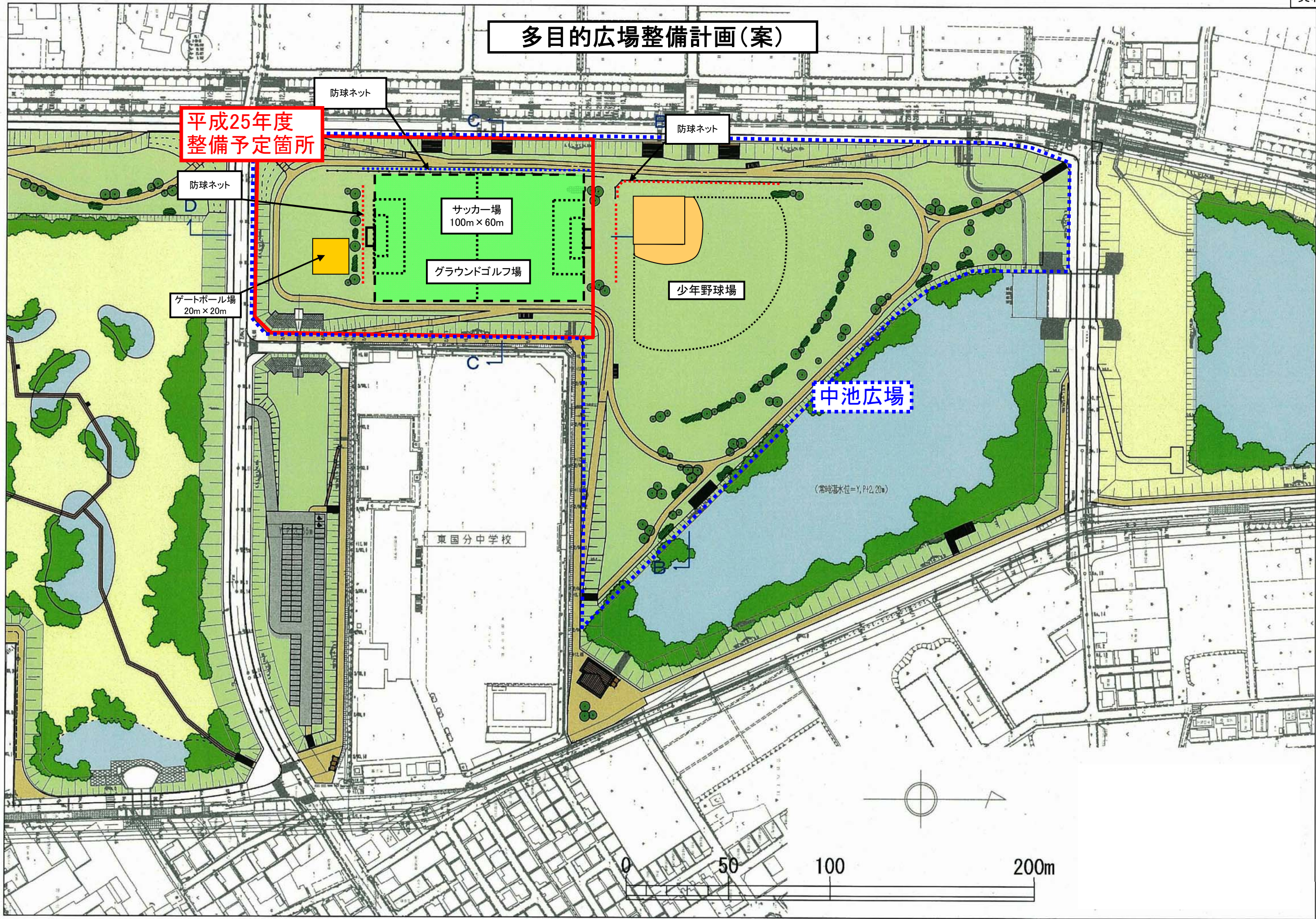
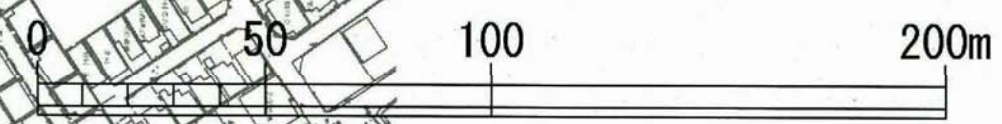
少年野球場

ゲートボール場
20m×20m

中池広場

(常時水位=Y.P+2.20m)

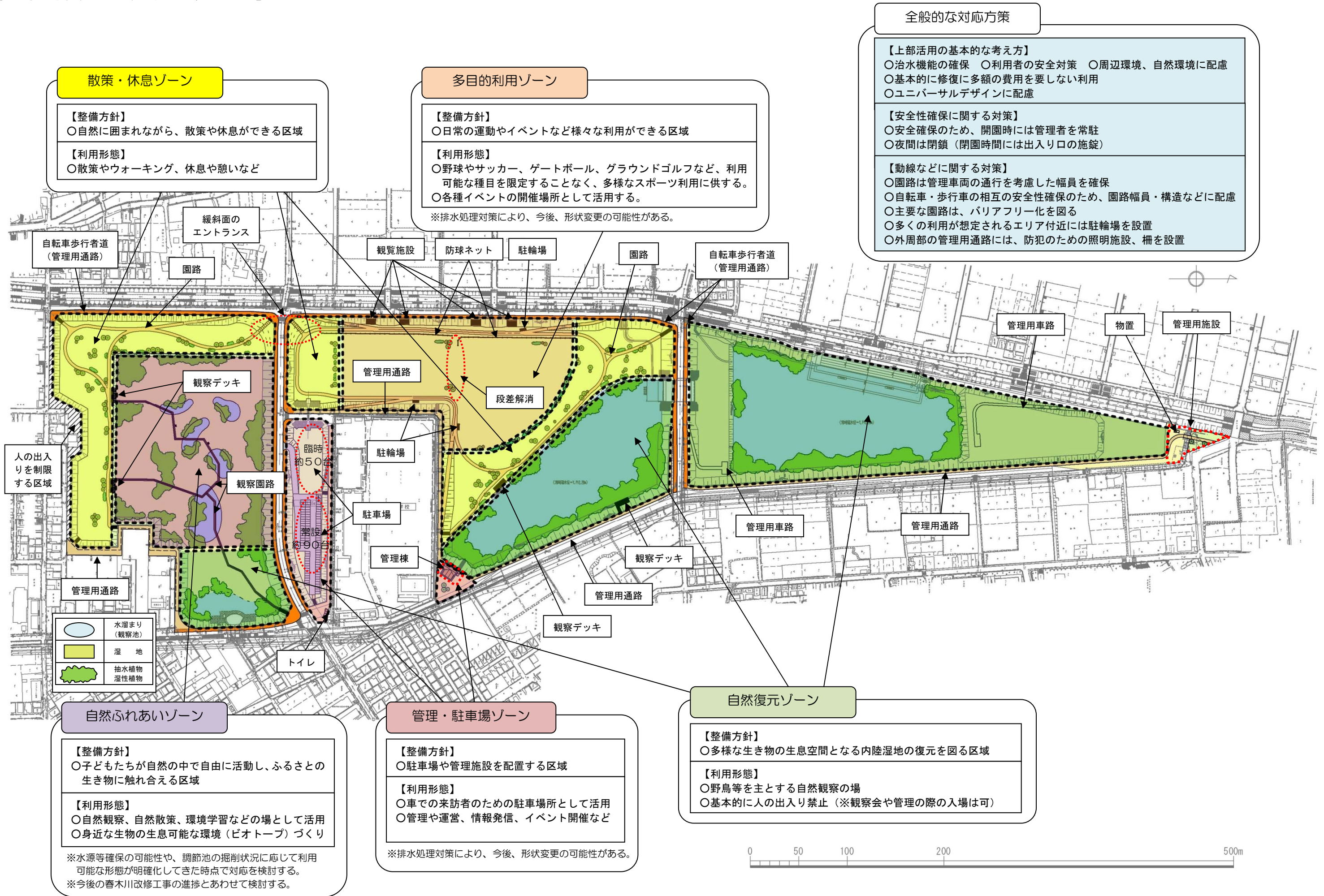
東国分中学校



多目的利用ゾーン イメージ図



【国分川調節池上部活用基本計画図】



散策・休息ゾーン

【整備方針】
○自然に囲まれながら、散策や休息ができる区域

【利用形態】
○散策やウォーキング、休息や憩いなど

多目的利用ゾーン

【整備方針】
○日常の運動やイベントなど様々な利用ができる区域

【利用形態】
○野球やサッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフなど、利用可能な種目を限定することなく、多様なスポーツ利用に供する。
○各種イベントの開催場所として活用する。
※排水処理対策により、今後、形状変更の可能性がある。

全般的な対応方策

【上部活用の基本的な考え方】
○治水機能の確保 ○利用者の安全対策 ○周辺環境、自然環境に配慮
○基本的に修復に多額の費用を要しない利用
○ユニバーサルデザインに配慮

【安全性確保に関する対策】
○安全確保のため、開園時には管理者を常駐
○夜間は閉鎖（閉園時には出入り口の施錠）

【動線などに関する対策】
○園路は管理車両の通行を考慮した幅員を確保
○自転車・歩行者の相互の安全性確保のため、園路幅員・構造などに配慮
○主要な園路は、バリアフリー化を図る
○多くの利用が想定されるエリア付近には駐輪場を設置
○外周部の管理用通路には、防犯のための照明施設、柵を設置

自然ふれあいゾーン

【整備方針】
○子どもたちが自然の中で自由に活動し、ふるさとの生き物に触れ合える区域

【利用形態】
○自然観察、自然散策、環境学習などの場として活用
○身近な生物の生息可能な環境（ビオトープ）づくり

※水源等確保の可能性や、調節池の掘削状況に応じて利用可能な形態が明確化してきた時点で対応を検討する。
※今後の春木川改修工事の進捗とあわせて検討する。

管理・駐車場ゾーン

【整備方針】
○駐車場や管理施設を配置する区域

【利用形態】
○車で来訪者のための駐車場所として活用
○管理や運営、情報発信、イベント開催など

※排水処理対策により、今後、形状変更の可能性がある。

自然復元ゾーン

【整備方針】
○多様な生き物の生息空間となる内陸湿地の復元を図る区域

【利用形態】
○野鳥等を主とする自然観察の場
○基本的に人の出入り禁止（※観察会や管理の際の入場は可）



前回(第11回) 国分川調整池を育む会

環境保全型・市民協働型管理の課題

千葉大学 園芸学部 緑地環境学科 環境造園学領域 近江慶光

- ☆楽しいことと・・・大変なことのバランス。
- ☆ツライことでなく、楽しいことに変えられたらいいのですが。
- ☆また、「楽しいこと」も、企画の苦勞が・・・。
- ☆さらに「継続」の苦勞も。
- ☆数名だけに「負荷」がかからない仕組みづくりをどのようにするのか。

新しいライフスタイルを学ぶ。

自然の中で汗を流し、(世代を超えて)人と語り、四季の移り変わりを体感しながら、生きる喜びを皆で享受する・・・

そんな感覚を会得できれば・・・楽しいかもしれませぬ。



今回(第13回) 国分川調整池を育む会

地域としての取り組み(市民参加による公園管理)

千葉大学 園芸学部 緑地環境学科 環境造園学領域 近江慶光

☆楽しいことと・・・大変なことのバランス。

☆みんなで「よく知る」ことが大切

☆みんなで少しずつ(役割分担)

☆一人だけ詳しいと、その人に様々な負担がかかり、継続しない。みんなで「環境」をよく知り、理解し、そして考えて行動しましょう。

☆若い人にも加わってもらい、みんなで楽しく。

☆地域で管理すれば、公園を汚す人はいなくなる。

